

令和3年11月10日

東京都知事

小池 百合子 様

一般社団法人 豊洲市場協会

会長 伊藤 裕 康

知事におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は豊洲市場の運営につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

豊洲市場は去る10月11日で、開場後3年が経過しました。この間、我々豊洲市場の業界一同は、「地元で愛される、都民に信頼される、世界に羽ばたく」市場を目指し、互いに切磋琢磨し、知恵を出し合い、必死に事業を営んできました。

（豊洲市場が果たしている役割の更なる強化）

今般の新型コロナウイルス感染症は、豊洲市場の運営に大きな影響を及ぼしました。一時、市場関係者に多くの感染者が発生し、ご心配をおかけしましたが、御都のご協力を賜り、PCR検査やワクチンの職域接種を進めるなど、業界が一丸となって対策を行った結果、感染者の状況は落ち着きを取り戻しつつあります。

コロナ禍の危機に直面し、いかなる際にも都民に安定的かつ継続的に「食」を提供し続ける、ライフラインとしての豊洲市場の役割を改めて自覚し、豊洲市場の業界一同、我々に課されている社会的使命を果たすべく、しっかりと取り組んでまいります。

（豊洲市場の今後の将来を見据えた「創造する」豊洲市場への進化）

一方、豊洲市場は平成30年に開場した新たな市場ですが、農水産物流通を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。物流の効率化、デジタル化への対応、付加価値向上など、豊洲市場が今後も中核市場としてあり続けていくためには、「創造する」豊洲市場へと、更なる進化をしていかなければなりません。

また、豊洲市場は東京2020大会の競技会場や選手村に隣接し、無観客開催ではありましたが、大会の熱気や感動を目の当たりにしました。今回の大会成功を契機に得られた「SDGs」や「脱炭素」など、新たな価値観をレガシーとして豊洲市場が継承し、豊洲市場ならではの価値である多様な「食」を発信していきます。豊洲市場が持続可能な社会の実現に取り組むことで、ベイエリア、更には「世界都市東京」の発展と進化のために貢献してまいります。

東京都におかれましては、一層のご支援をいただけるよう、お願い申し上げます。

1 豊洲市場の安定運営

(1) コロナ禍をはじめとした、市場の事業継続を脅かす危機への万全の備え

今般の新型コロナウイルス感染症の脅威に接し、いかなる状況におかれても、都民へ豊富で新鮮な「食」を安定的に供給する卸売市場の役割の重要性を再認識しました。

新型コロナウイルス感染症をはじめ、年々被害が大規模化する風水害や今後発生が懸念される首都直下型地震など、様々な危機が想定されます。

こうした危機的な事象に直面しても、卸売市場がその機能を維持し、安定的に食を供給し続けることが、都民の方々の安心につながります。

卸売市場は開設者である都と、取引を担う我々市場関係者の両輪で成り立っています。有事の際にも、都と業界が連携し、一体となって豊洲市場が着実に事業継続を果たせるよう、今年度同様、東京都のご支援をお願いいたします。

(2) コロナ禍で厳しい経営状況に置かれた事業者に対する支援

今般の新型コロナウイルス感染症の影響は長期化し、特に我々豊洲市場が得意としている品質志向の食材流通の需要が激減し、取扱量の大幅な落ち込みによって、厳しい経営環境を余儀なくされています。さらに、世界的なエネルギー需要の増大から、燃油・光熱水費が上昇しており、公共インフラとしての機能維持に大きな影響を及ぼし始めています。市場移転による施設の低温化は品質維持の向上等に大きく寄与しておりますが、市場関係者の負担が大きく、経営を圧迫しています。

豊洲市場が生鮮品等流通の基幹的なインフラとしての役割を継続して果たしていくためには、取引を担う事業者の経営基盤を強化するとともに、安定的に経営を行うため、エネルギー問題等の外的要因による固定費の激変を緩和するための措置が必要です。

東京都におかれましては、経営に不安を持つ事業者に対するきめ細かな支援をお願いするとともに、省エネ対策への取組促進や激変緩和、経営規模が小さいながらも、新たなビジネスへ果敢にチャレンジする意欲を持つ事業者の取組を後押しいただくなど、各事業者の状況に応じた積極的な経営支援をお願いします。

(3) 利便性向上に向けた取組

豊洲市場が安定的に運営を継続していくためには、豊洲市場を利用する方々の利便性を高めることがかせません。

築地場外から豊洲市場へ買出しに訪れる方々のアクセスをはじめ、入出荷物流の機能向上を視野に入れた場内の動線や駐車場の屋根などの設備について、引き続き利用者等の意見を聞きながら、ご対応を願います。

2 大会レガシーを踏まえた「創造する」豊洲市場へのバージョンアップ

(1) 社会構造の変化への対応

新型コロナウイルス感染症がもたらした影響は、負の側面ばかりではありません。「新しい日常」という形で現れた人々の行動様式の変化は、私どもの仕事にも変化を迫るものであります。昨年6月に改正卸売市場条例が施行され、商流・物流・情報流に関する新たな試みを検討していた私たちにとっては、新型コロナウイルス感染症がもたらした社会構造の変化によって、公正な取引環境の確保はもとより、新たな取組をさらに加速していく必要があります。

豊洲市場全体でみればデジタル化が進んでいるとは言えない状況ですが、キャッシュレス化などの市場取引へのデジタル技術の活用や、自動化技術による物流の効率化など、市場流通を取り巻く環境変化に目を向けながら、豊洲市場が新たに「創造していく」ことが重要です。

東京都におかれましては、こうした「創造する」豊洲市場の実現に向けた取組に対するご支援をお願いします。

(2) 食文化の拠点としての情報発信力の強化

豊洲市場は食材の流通拠点であると同時に、情報の発信拠点としての機能が求められています。

豊洲市場協会では、本年2月に豊洲市場の魅力を凝縮した動画を新たに制作し、市場前駅の大型ビジョンで放映しているほか、当協会のホームページでも公開を行っています。

東京2020大会を契機に、大会レガシーを踏まえた「TOYOSU」ブランドの向上を図ることが重要です。市場関係者が主体となって、本物の「食文化」を伝えていくための取組に対し、ご支援を賜るとともに、東京都の積極的な取組の推進をお願いいたします。

(3) 持続可能な社会への貢献

豊洲市場が更なる発展、進化を遂げていくためには、大会レガシーともなっている「SDGs」や「脱炭素」をはじめとした取組を推進し、豊洲市場が社会の中で多様な役割を一層発揮していくことが重要です。

豊洲市場では、昨年より、水産エコラベルを活用した流通・消費形態の確立に向けたシンポジウムや、水産資源・海洋環境に関するワークショップを開催し、持続可能な水産業のあり方を豊洲市場から発信しています。

東京都におかれましても、「SDGs」や「脱炭素」の取組の推進をお願いするとともに、こうした取組に対する一層の支援をお願いいたします。

(4) 食育の取組

豊洲市場は、生鮮食料品を毎日取り扱っている卸売市場だからこそ、日常生活に欠かすことができない「食」の重要性について発信する責務があると認識しております。

東京都においても、食育の実施や食育の普及についてご尽力いただくとともに、とりわけ次世代を担う子どもはもちろん、様々な世代に対する食育事

業の強化等のご支援をお願いいたします。

(5) 地域との共生

豊洲市場がそのポテンシャルを更に発揮していくためには、地域と共生し、地域と一体となって歩みを進めていく必要があります。

今後、開業予定の千客万来施設については、豊洲市場に活気と賑わいをもたらし、地域との結びつきを強める存在として、我々業界一同も期待を寄せているところですが、豊洲市場が「地元で愛される市場」として発展していくため、東京都の更なる取組の推進をお願いいたします。